

東一争闘10.21



「10月21日、東京大学で争闘が行われ、学生らは「東一争闘10.21」の旗を掲げ、抗議の声を上げた。この争闘は、学生らの要求が満たされず、さらなる行動を促すものとなった。

争闘当日は、多くの学生が参加し、演説や歌を唱へた。学生らは、大学の運営や教育の質について深刻な懸念を抱いていると述べた。

争闘の結果、学生らは「東一争闘10.21」の旗を掲げ、抗議の声を上げた。この争闘は、学生らの要求が満たされず、さらなる行動を促すものとなった。

支配者による発展か 労働者人民による解決か

「支配者による発展か、労働者人民による解決か」という問いは、現代社会の根本的な矛盾を突いている。戦後、高度経済成長を遂げた日本社会において、この問いはますます重要性を増している。

支配者階級による発展は、短期的には経済的繁栄をもたらすが、長期的には社会的不平等を拡大し、労働者階級の生活水準を低下させる傾向がある。一方、労働者人民による解決は、社会正義の実現と持続可能な発展の道を開く。

この争い、単なる経済的利害の衝突ではなく、社会の未来を決定する重要な岐路である。

日米首脳会談

首相訪米 世界政策の確認へ

「首相は10月21日、ワシントンでニクソン大統領と会談し、日米関係の改善と世界政策の一致を確認した。この会談は、冷戦下の国際情勢を背景に、両国間の信頼関係を強化する重要な契機となった。

会談では、日米両首脳は、アジア太平洋地域の平和と安定の重要性を強調し、相互理解と協力を促進する必要性を述べた。また、世界政策の面で、両国が共通の利益を追求し、国際社会の発展に貢献していくことを誓った。

自衛隊パレード日 叛軍集会(二十四日)

「自衛隊のパレードが行われる日、各地で叛軍集会が開かれた。この集会は、自衛隊の活動に対する批判を表明し、社会正義の叫びを上げた。

集会参加者は、自衛隊の存在が国民の自由と権利を脅かしていると主張し、自衛隊の廃止を求めた。また、社会の不正と権力者の横暴に対する怒りを表明し、国民の団結を呼びかけた。

政府、防衛自書を公表

「政府は防衛自書を公表し、国防政策の基本方針を示した。この自書は、戦後初めての防衛政策に関する重要な文書であり、国民の注目を集めている。

自書には、日本の安全保障は、国際協調と平和主義に基づいて確保されるべきであると明記されている。また、必要に応じて自衛隊の活動を強化し、国民の生命と財産を守る責任を負う旨が述べられている。

中曽根構想の具体化 四次防衛主義軍隊へ

「中曽根首相の構想が具体化し、第四次防衛主義軍隊の編成が進んでいる。この構想は、日本の防衛力を大幅に強化し、国際的な役割を果たすことを目指している。

第四次防衛主義軍隊は、従来の自衛隊の枠組みを超え、より高度な戦闘力と技術力を備えることが期待されている。また、国際的な平和維持活動や人道支援活動にも積極的に参加する役割が与えられている。

丁勳相氏の強制送還阻止 「無条件の政治亡命を」

「丁勳相氏の強制送還阻止の運動が、市民の間で広がっている。市民らは、丁氏に「無条件の政治亡命」を求め、その人権を擁護するよう呼びかけている。

丁氏は、政治的迫害を受けたと主張し、自国に帰ることを断念している。市民らは、丁氏の送還は、国際法に違反する行為であり、日本の民主主義と人権を損なうと警告している。

再度法学部学生大会開く 四者共闘の強化へ

「法学部学生大会が再度開催され、学生らは四者共闘の強化を訴えた。この大会は、学生間の連携を深め、社会正義の実現に向けた行動を促すものとなった。

大会では、学生らは、大学の不正と権力者の横暴に対する怒りを表明し、四者共闘の強化を求めた。また、社会の不正と権力者の横暴に対する怒りを表明し、国民の団結を呼びかけた。

法学部学生大会 常任委提案を可決

「法学部学生大会で常任委員会の提案が可決された。この提案は、学生らの要求を反映し、大学の運営改善に向けた重要なステップとなる見込みである。

提案には、大学の運営の透明性の向上と学生参加の促進、また、社会正義の実現に向けた取り組みの強化が含まれている。学生らは、この提案の可決を歓迎し、今後の行動の指針とする意向を示している。

教官—労働者を貫く 戦線へ

「教官と労働者の戦線が、社会正義の戦線へと広がっている。両者は、社会の不正と権力者の横暴に共同で立ち向かい、改革を求めようとしている。

この戦線は、単なる利害の衝突を超え、社会正義の実現と国民の権利の擁護を共通の目標としている。両者は、互いに支え合い、社会の不正と権力者の横暴に共同で立ち向かい、改革を求めようとしている。

処分粉砕闘争

「処分粉砕闘争が、学生の間で激化している。学生らは、不当な処分を撤回し、社会正義の実現を求めようとしている。

この闘争は、学生らの権利と自由を守るための重要な戦いである。学生らは、不当な処分を撤回し、社会正義の実現を求めようとしている。

国政参加選挙粉砕へ

告示粉砕に決起 10.23 東京

「国政参加選挙の粉砕を目的とした活動が、10月23日東京で決起された。参加者は、選挙の公正さと民主主義の重要性を訴え、不正な選挙活動を粉砕しようとしている。

活動には、選挙の監視と不正の暴露が含まれている。参加者は、選挙の公正さと民主主義の重要性を訴え、不正な選挙活動を粉砕しようとしている。

諸君の不安感が何であれ

ホモ・セックスと婦人の解放のための 正当な闘いを支持する声明



B・P・P 国防相
Hью-イ・P・ニュートン

本報記者は、本年十月十七日、東京大学で開かれた「ホモ・セックスと婦人の解放」に関する学際的討論会に参加した。この討論会には、社会学、心理学、文学、法学など各分野の専門家や学生が参加し、活発な議論が交わされた。討論の中心は、性的自由と個人の権利の拡大、そして社会規範の再考にあった。参加者たちは、従来の道徳観念が個人の自由を過度に制限していることを指摘し、社会が個人の多様な生き方を容れなければならないという主張を繰り返した。この討論会は、学生たちの社会意識の高まりと、既存の価値観に対する批判的思考の表れと見られる。

その不安感を
わわれわれの友は誤りを
犯す権利を持っている

「五月革命」以後のフランス
前衛党の創出

読者の手紙

最初の衝動は
「五月革命」以後のフランス
前衛党の創出

読者の手紙

読者の手紙

最初の衝動は
「五月革命」以後のフランス
前衛党の創出

読者の手紙

読者の手紙

最初の衝動は
「五月革命」以後のフランス
前衛党の創出

読者の手紙

読者の手紙

“erprobt, bewährt, garantiert” 若い世代に贈る万年筆の最高峰...
MONTBLANC モンブラン
3,000円より各種ございます
無条件で信頼出来る生涯の友
ドイツ製高級万年筆
MONTBLANC
モンブラン
化学的に研究しつくされた最高のインク...色揃っています。

波紋思考

柔軟な頭脳で、あなたのアイデアを発展させてください。
クルマと、人と、広がりは無敵です。

第3回 アメリカ短期留学および
奨学金総額230万円
オート・スカラシップ
論文募集

第1部門 研究論文
1席(1名様) アメリカ一流大学の夏季学期に留学の所要経費全額と、別途奨学金月2万円1年間
2席(2名様) 奨学金月3万円1年間
3席(3名様) 奨学金月2万円1年間
佳作(5名様) 奨学金5万円

第2部門 感想文
1席(1名様) 奨学金10万円
2席(2名様) 奨学金5万円
3席(3名様) 奨学金3万円
佳作(5名様) 奨学金1万円

留学不可能な場合50万円一括払い。金額はいずれも税込。
応募者全員に記念品をさしあげます。

■応募要項
*第1部門研究論文
自動車に関する技術問題(車体設計、技術革新、その他)をテーマとした論文、および自動車と環境などをテーマとした社会科学系論文。課題は自由。論文枚数は400字詰原稿用紙30枚~40枚。ただし純粋技術論文は枚数は不問。第1部門は共同執筆も可。なお、大学名の入った原稿用紙は使わないでください。

*第2部門感想文
自動車全般に関する技術的、文明的な感想文。課題自由。枚数(400字詰原稿用紙)20枚前後。ただし純粋技術論文は除く。
応募論文は未発表のものに限ります。

*応募資格
全国の大学院、大学の大学生、高専4、5年生、短大、大学の通信教育正規受講者を含みます。(日本国籍を有する者)

*必要書類
応募部門、氏名、住所、年齢、学校、学部、専攻科目、学年、学歴などを記した履歴書(書式自由)、在学証明書、各一通。

なお、原稿にも応募部門、学校名、氏名を明記した表紙(紙は自由)をつけること。
*締め切り
昭和46年1月15日(当日消印有効)
*送付先
東京都千代田区大手町1-7の2(〒100)サンケイ新聞社事業本部オート・スカラシップ係、必要書類をそとて応募してください。
*発表
昭和46年3月中旬サンケイ新聞紙上
応募論文は一切返却いたしません。
入賞論文の著作権は主催者に所属します。
*お問い合わせ
返信用封筒に15円切手をはり上記オート・スカラシップ係まで。ご希望の方に応募要項をお送りいたします。

*審査員(敬称略、順不同)
梅澤忠夫(京大文学部人文科学研究所教授)
近藤 武(日野自動車工業株式会社)
林雄二郎(東京工業大学工学部教授)
樋口健治(東京工業大学工学部教授)
平尾 収(早稲田大学理工学部教授)
吉阪隆正(早稲田大学理工学部教授)
家本 潔(日野自動車工業株式会社)
武藤恭二(日野自動車販売株式会社)
三雲四郎(サンケイ新聞社論説主筆)
吉田時雄(サンケイ新聞社東京本社編集局経済部長)

■主催=サンケイ新聞社
■協賛=日野自動車工業株式会社
Hino 日野自動車販売株式会社
■協力=全日本学生自動車連盟



書評

オキナワ1961-1970
朝日新聞社

「オキナワ1961-1970」は、朝日新聞記者の現地取材に基づき、沖縄の戦後史を詳しく描き出した力作である。戦後二十年の沖縄の歴史を、政治、経済、社会、文化の各方面から掘り下げ、その変遷を明らかにしている。特に、米軍基地の増設と沖縄人の生活との関係、琉球政府の成立と米軍との関係、沖縄の経済発展と米軍との関係など、重要なテーマを扱っている。この本は、沖縄の歴史を知る者にとって必読の書である。朝日新聞記者の現地取材に基づき、沖縄の戦後史を詳しく描き出した力作である。



「オキナワ1961-1970」は、朝日新聞記者の現地取材に基づき、沖縄の戦後史を詳しく描き出した力作である。戦後二十年の沖縄の歴史を、政治、経済、社会、文化の各方面から掘り下げ、その変遷を明らかにしている。特に、米軍基地の増設と沖縄人の生活との関係、琉球政府の成立と米軍との関係、沖縄の経済発展と米軍との関係など、重要なテーマを扱っている。この本は、沖縄の歴史を知る者にとって必読の書である。

存在の解放に向けて

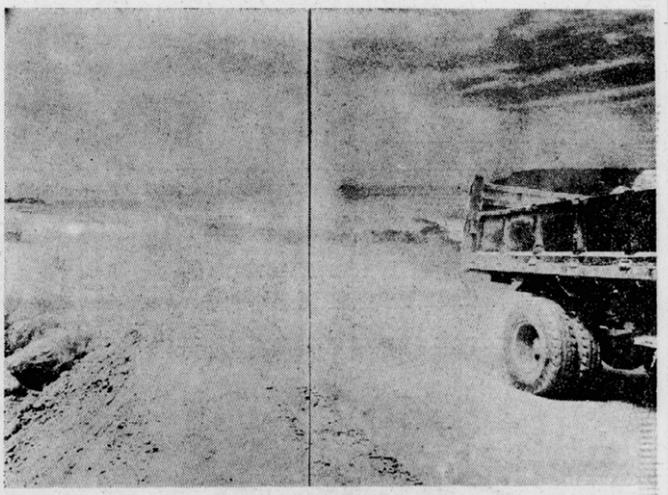
ブルジョア的感性の対自化から
ブルジョア的権力の対象化へ

ブルジョア的感性の対自化からブルジョア的権力の対象化へ。この本は、学生運動の歴史を振り返り、その意義と限界を論じている。学生運動は、社会の不正を正すための重要な手段であるが、同時にブルジョア的権力の対象化を招き起こしている。この本は、学生運動の未来を展望し、その発展のための道筋を示している。

ブルジョア的感性の対自化からブルジョア的権力の対象化へ。この本は、学生運動の歴史を振り返り、その意義と限界を論じている。学生運動は、社会の不正を正すための重要な手段であるが、同時にブルジョア的権力の対象化を招き起こしている。この本は、学生運動の未来を展望し、その発展のための道筋を示している。

生々しい沖縄の生活 流出する若年労働力

流出する若年労働力。沖縄の若年労働力が流出しているという問題が、この本で詳しく論じられている。沖縄の経済発展と若年労働力の流出との関係が、この本を通じて明らかにされている。



生々しい沖縄の生活。流出する若年労働力。この本は、沖縄の若年労働力が流出しているという問題が、この本で詳しく論じられている。沖縄の経済発展と若年労働力の流出との関係が、この本を通じて明らかにされている。

流出する若年労働力。この本は、沖縄の若年労働力が流出しているという問題が、この本で詳しく論じられている。沖縄の経済発展と若年労働力の流出との関係が、この本を通じて明らかにされている。

ブルジョア的感性の対自化からブルジョア的権力の対象化へ。この本は、学生運動の歴史を振り返り、その意義と限界を論じている。学生運動は、社会の不正を正すための重要な手段であるが、同時にブルジョア的権力の対象化を招き起こしている。この本は、学生運動の未来を展望し、その発展のための道筋を示している。

ブルジョア的感性の対自化からブルジョア的権力の対象化へ。この本は、学生運動の歴史を振り返り、その意義と限界を論じている。学生運動は、社会の不正を正すための重要な手段であるが、同時にブルジョア的権力の対象化を招き起こしている。この本は、学生運動の未来を展望し、その発展のための道筋を示している。

ブルジョア的感性の対自化からブルジョア的権力の対象化へ。この本は、学生運動の歴史を振り返り、その意義と限界を論じている。学生運動は、社会の不正を正すための重要な手段であるが、同時にブルジョア的権力の対象化を招き起こしている。この本は、学生運動の未来を展望し、その発展のための道筋を示している。

レジャービル
銀閣のホトリ散歩して………唯だまって
四人そろへば………意気の合う奴が集る………

静かでゴージャスな
純喫茶 **ケルン** (F) 761-4570 京・銀閣寺道電停前

廉価で魅力一ぱいで(コーヒーサービス付)
麻雀センター
761-1872

本格派………おとな感覚とエレガンスな
フィーリングで

ユックリ楽しめる
高級ビリヤード
761-3874

幻覚のような、ただごとでない美しさ！
地の底から招く魅惑の旋律！

サウザン
31日公開
パレス名画座

名匠フェデリコ・フェリーニ監督

暴力と叛乱への序説
—ひとつの帝国主義論ノート—

風景は静かだった。
いつ斬りこんでくるか
わからない。

京都上映 日時・場所

11月2日 同大学館ホール PM 1-8
5日 毎日新聞ホール PM 6-
6・7日 京大西部講堂 PM 1-

「暴力と叛乱への序説」上映委員会
東京都渋谷区恵比寿3-38-22鈴木方
京都上映委員会 TEL.701-3064(河村方 高橋製村)